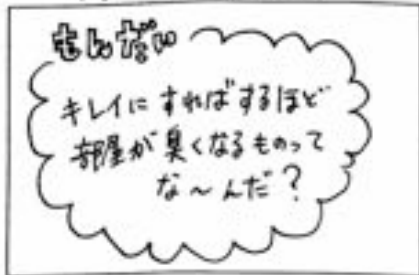


本当にあんなぞらぞら



大船渡市から陸前高田市に引っ越し

震災から6年。変わること、変わらないこと
 こんにちは。いつもお祈りとご支援感謝致します。
 震災から6年が経ちました。2011年から活動が続いている大船渡市や釜石市の街の様子もこの1年でだいぶ変わってきたと思います。かさ上げが終わり、商業施設や新たな校舎などが建ったり、目に見える変化を感じます。しかし、地元の人の心はどうでしょうか？心境の変化には個人差がありますので、一概には言えませんが、5年、6年経ったからこそ話せるという話もあると思います。この震災を整理できるのは、少しずつだと思います。私は、最低でも10年はこの地域の皆さんと共に生きていきたいと考えて岩手に来ました。10年という単位はある方にとっては大きなものかもしれませんが、そのくらいどっしり腰を下ろして、真心を込めて、宣教し続けます。

かみのおかづっ子新聞

No. 33
 3月号
 発行人
 瀬 知行

2017年
 4月5日発行
 全3枚



＜今年の3月11日の岩手県釜石市根浜海岸の14時46分の様子。＞

陸前高田市民になりました。新しい生活しながら、変わらず宣教します！

この4月から私は岩手県大船渡市から南の隣町の陸前高田市に引っ越しをしました。今までは、知り合いの家に居候させていただいておりましたが、これからは同じ教会の男性メンバーと合計3人で一軒家を借りて住みます。岩手特有の大きな部屋で、小さな畑もついて2階の窓からは海も見える素晴らしい家を主が、絶妙なタイミングで与えてくださいました。ただ、1つ問題がありまして、断熱材などが一切入っていない家なので、ものすごく寒いです。そこ冷えます。冷蔵庫みたい。

しかし私たちの心は燃えています。私も、この家で地元の友人たちを招いて共に食事をしていきたいとビジョンを持っています。また、初代教会のように持ち物を分かち合いながら、主の弟子として共に成長できたらと感じています。

また、4月からこの家の一室を使ってMTCが開催されます。MTCは宣教について1年間集中して学ぶトレーニングです。生徒は現在2人で、教師はCCMNの宣教師たちが担当します。ぜひ良い学びになるようお祈りください。



祈りの支援、経済的支援の拡大のために祈りください！

2011年の10月から岩手に国内宣教師として派遣されて、5年半が経ちます。この5年半、多くの方に祈っていただき、また「瀬知行を支える会」を通して多くの方に経済的な支援をしていただきました。誠に感謝申し上げます。さて、単刀直入に書きますと、現在「瀬知行を支える会」の財政が大変厳しくなっております。私もいつかこの時がくるであろうと覚悟はしていましたが、いざこういう状況になりますと、色々な感情が湧いて出てきて、心を騒がしてしまいます。しかし、こんな時だからこそ、響く御言葉が多くあります。具体的には主の祈りの「日頃の糧を今日も与えてください」「明日のための心配は無用です」などが心に響きます。試練の時ではありますが、中々願っても経済的に厳しくなるという体験はそうそう出来ませんので、恵みの時、学びの時だと感じております。また同時チャンスの時だとも感じていまして、こういう時だからこそ、より多くの方に私の活動を知っていただき、祈っていただけるのではないかと、私の活動を通してもっと宣教を身近に感じてくださるのではないかと、考えています。「転んでもただでは起きず、どんなことから学ぶ」というのは私のライフスタイルです。

私は「最低でも10年東北で宣教する」と決めて岩手に来ました。岩手県沿岸は震災を経験した地域であり、現在日本で最も教会が少ない地域です。私も住んでみて感じましたが、教会が少ない、クリスチャンが少ない地域というものは、ローマ10章14・15節「しかし、信じたことのない方を、どうして呼び求めることができるでしょう。宣べ伝える人がなくて、どうして聞くことができるでしょう。遣わされなくては、どうして宣べ伝えることができるでしょう。」という御言葉を思い出さずにはいられないということです。

また今私は、OLD という開拓教会の一員として、香港からの宣教師や日本各地の働き人とチームを作り、地元の方との人間関係を大切にしながら宣教をし、主の弟子を育てています。また現在、無報酬ですがNPO法人の理事長をしています。他にも、岩手県のコーチングネットワークや青森県のコーチングネットワークのお手伝いもしています。YDS という全国規模のユースクリスチャンネットワークの中心スタッフをしています。

様々な働きフルタイムとしてやっております、感謝なことに日々忙しくさせていただいておりますが、まだまだ継続した働きが必要ですので、ぜひお祈りとお支援の拡大のために、お祈りください。キリストの体、キリストの家族として共に宣教していけたら幸いです。

私が今後、力を入れていきたい「クロスローズ」について

内閣府の調査で「自分の将来に希望がある」と答えた若者は12%でした。これは他の先進国に比べるとかなり低い数値です。クロスローズは、アメリカで開発された人生の目的を見つけるトレーニングです。聖書が土台となっていますが、御言葉をあえて使っていないので、学校や公共の場など、またどんな人でも学べるものとなっています。私は、クロスローズを教えることのできる資格を2014年に取得しています。現在は、とある幼稚園の先生方を対象にクロスローズを教えたり、また牧師夫妻にも教えています。いずれは、NPO法人として高校でクロスローズを教えられるように只今準備をしております。

私は、神様が1人ひとりに与えている「人生の目的」を共に考えること自体に私の人生の目的があると考えています。何のために生きているかわからない人を減らし、与えられている人生の目的に生きる人々がこの国に増え広がることを祈っています。



山口県での宣教活動報告が無事に終わりました。

1月6～23日まで山口県内の支援して下さる教会で宣教活動報告をすることができました。今回の報告は、私が昨年学んだことや、岩手の様子、地元で救われた人の証などをさせていただきました。今回、報告で特に強調したのは「チームと一緒に大切なことを成し遂げる」ということです。私は岩手での宣教を決して一人でやっているわけではなく、支援して下さり、また祈って下さる皆さんと、また岩手の宣教チームと共にこの5年半歩んでまいりました。とっても感謝なことは、年々「一緒に宣教をする」という雰囲気が出ているように感じています。山口県を「宣教県」にしたい！と願いを持っていますが、いつかそんな日が来る気がします。山口滞在中、証をさせていただいた教会の皆様、本当にありがとうございました。



(左写真は、母教会の大内福音教会の皆様と)

主な活動報告	1月8日	証 (大内福音教会・熊毛キリスト教会)	今後の活動予定	4月9日	東北 MTC 入学式
	1月9日	証 (新年聖会 南陽教会)		4月29・30日	商業施設でイベント (大船渡市)
	1月15日	証 (山口福音教会・プレイズチャペル)		5月19・20日	第5回岩手コーチングセミナー
	1月22日	証 (新下関教会) ※インフルエンザのため中止			

祈りの課題

- ・ 4月から陸前高田市民となり、教会のメンバーとの共同生活が始まりました。新しい生活と、メンバーと一致し、共に成長できるようにお祈り下さい。
- ・ 「瀬知行を支える会」の経済的な祝福のためにお祈り下さい。また私の働きの証を全国へと広げることができるようにもお祈り下さい。
- ・ クロスローズを岩手の高校生に教える道が開かれるようにお祈り下さい。

瀬 知行 山口県出身 平成元年8月9日生まれ 27歳 国内宣教師&保育士

瀬知行を支える会の住所：山口県山口市大内長野 633-1

ブログ：「ともだちだよブログ」<http://blog.livedoor.jp/tomotomodati/>

支援献金の方法

私の活動は皆様の支援献金によって支えられております。経済的支援にご協力して下さる方はお手数ですが、以下のいずれかの方法で口座にお振込下さい。

ゆうちょ銀行口座番号：01350-2-99626 名義：瀬知行を支える会

他行からの振込 店名(店番) 一三九(イチサンキュウ) (139)

預金種目：当座 口座番号：0099626「瀬知行を支える会」

郵貯振替口座番号：01350-2-99626 名義「瀬知行を支える会」

アライブの子達と盛岡へ



震災後に出会い、5年以上の付き合いにもなるアライブという中学生コミュニティの子達と、先日片道3時間かけて盛岡へ遊びに行きました。

1年前から約束して盛岡ツアーがついに実現して、みんな大喜び！大盛り上がり！いつか皆で県外にボランティアとか行けたらと考えています！